

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	5年間（2015年8月19日～2020年8月18日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）（以下「ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）」）といえます。）の受益証券 ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）（以下「ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）」）といえます。）の受益証券 ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
運用方法	為替ヘッジあり	①主として、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）の受益証券を通じて、世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券）（※）に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。 ※C o C o条項が付帯されているものを含みます。 ②当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）では、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。
	為替ヘッジなし	①主として、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）の受益証券を通じて、世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券）（※）に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。 ※C o C o条項が付帯されているものを含みます。 ②当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコモディティ・ペーパーに投資することを基本とします。	
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 マザーファンドの純資産総額の10%以下 株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売差益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

ダイワ新グローバル・
ハイブリッド証券ファンド
（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）

運用報告書（全体版）
第5期

（決算日 2018年2月19日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）」は、このたび、第5期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5668>

<5669>

為替ヘッジあり

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			公社債 組入比率	債券 組入比率	信託 証券 比率	純資産 総額
		税金 分	込 配	み 金				
1 期末 (2016年2月18日)	円 9,541		円 130		% △3.3	% 0.0	% 99.1	百万円 10,832
2 期末 (2016年8月18日)	9,862		230		5.8	0.0	100.0	11,269
3 期末 (2017年2月20日)	9,831		200		1.7	0.0	98.5	9,093
4 期末 (2017年8月18日)	10,376		215		7.7	—	99.1	7,876
5 期末 (2018年2月19日)	10,427		190		2.3	—	99.5	7,107

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

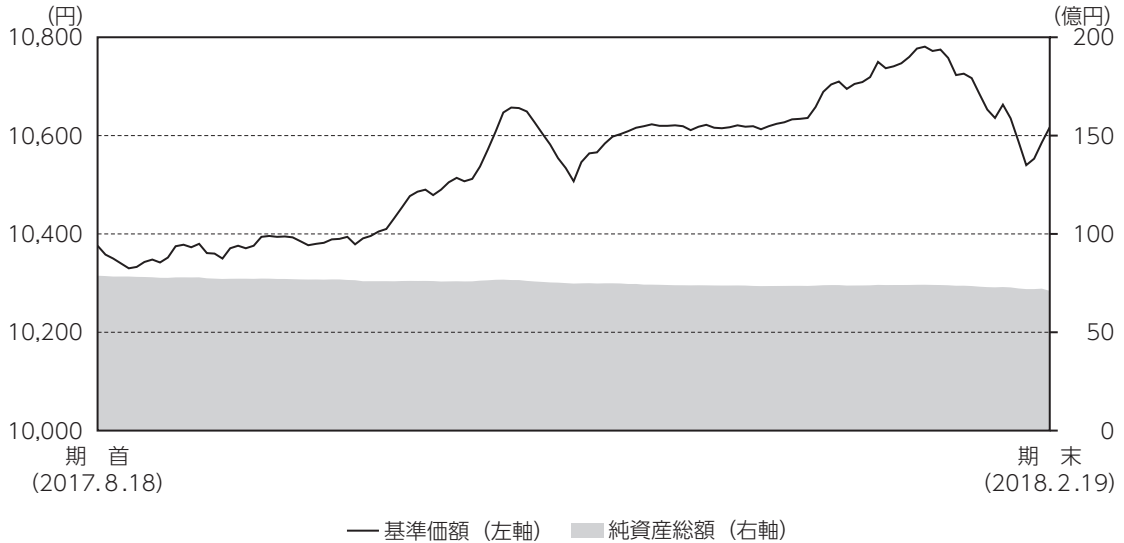
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,376円

期末：10,427円（分配金190円）

騰落率：2.3%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

世界の金融機関（関連会社等を含みます。以下同じ。）が発行するハイブリッド証券に投資した結果、主にC o C o債（※）が堅調な推移となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※C o C o債とは、特定の条件下において強制的に投資家が損失を負担する条項（C o C o条項）が付帯されたハイブリッド証券（劣後債、優先証券）をいいます。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	投 資 信 託 証 券 率
	騰 落 率	率		
(期首) 2017年 8月18日	円 10,376	% -	% -	% 99.1
8 月末	10,352	△0.2	-	99.3
9 月末	10,382	0.1	-	99.8
10月末	10,572	1.9	-	99.4
11月末	10,619	2.3	-	99.0
12月末	10,636	2.5	-	99.5
2018年 1 月末	10,723	3.3	-	96.9
(期末) 2018年 2月19日	10,617	2.3	-	99.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017.8.19~2018.2.19)

■金融ハイブリッド証券市況

金融ハイブリッド証券市況は上昇しました。

金融ハイブリッド証券市況は、期の初めより2018年1月中旬にかけては、米国の税制改革法への期待や欧米金融機関の決算が好調であったことなどから上昇しました。しかし期末にかけては、ECB（欧州中央銀行）による金融緩和の早期縮小が意識されたことや米国の利上げペースの加速の見通しなどから金利が上昇（債券価格の下落）したことにより、金融ハイブリッド証券市況の上昇幅は縮小しました。資産別では資本性の高いC o C o債が堅調でした。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）（以下「ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）」といいます。）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

ポートフォリオについて

(2017.8.19～2018.2.19)

■当ファンド

当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通じてハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持しました。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）

G-SIFIs（金融システム上、世界経済に与える影響が極めて大きい重要な金融機関）を中心に、利回り水準や流動性、発行体の信用力などを考慮して銘柄選定を行ないました。資産別では、C o C o債、劣後債（バーゼルⅢ対応型）、米国優先証券を中心に投資を行ないました。国・地域別では、堅調な景気に支えられ信用力の安定している米国の金融機関の比率を高めとしました。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローンによる運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は190円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2017年8月19日 ～2018年2月19日	
当期分配金（税込み）	（円）	190
対基準価額比率	（％）	1.79
当期の収益	（円）	190
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	435

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	190.11円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	50.82
(c) 収益調整金	11.03
(d) 分配準備積立金	373.35
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	625.33
(f) 分配金	190.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	435.33

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。通常の状態で、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行いません。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2017.8.19~2018.2.19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	68円	0.643%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,546円です。
(投 信 会 社)	(23)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(43)	(0.410)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	68	0.647	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2017年8月19日から2018年2月19日まで)

国	内	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	-	-	743,760.815	790,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券	千口	千円	%
ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	6,726,060.318	7,072,452	99.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首 当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	0	0	0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年2月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	7,072,452	96.9
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	225,578	3.1
投資信託財産総額	7,298,032	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年2月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	7,298,032,051円
コール・ローン等	225,578,628
投資信託受益証券(評価額)	7,072,452,424
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	999
(B) 負債	190,163,376
未払収益分配金	129,514,062
未払解約金	11,922,671
未払信託報酬	48,417,684
その他未払費用	308,959
(C) 純資産総額(A - B)	7,107,868,675
元本	6,816,529,615
次期繰越損益金	291,339,060
(D) 受益権総口数	6,816,529,615口
1万口当り基準価額(C / D)	10,427円

* 期首における元本額は7,591,021,109円、当期中における追加設定元本額は104,243,755円、同解約元本額は878,735,249円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,427円です。

■損益の状況

当期 自2017年8月19日 至2018年2月19日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	168,036,226円
受取配当金	168,069,278
受取利息	1,001
支払利息	△ 34,053
(B) 有価証券売買損益	44,929,733
売買益	55,513,641
売買損	△ 10,583,908
(C) 信託報酬等	△ 48,726,643
(D) 当期損益金(A + B + C)	164,239,316
(E) 前期繰越損益金	254,499,183
(F) 追加信託差損益金	2,114,623
(配当等相当額)	(7,520,230)
(売買損益相当額)	(△ 5,405,607)
(G) 合計(D + E + F)	420,853,122
(H) 収益分配金	△ 129,514,062
次期繰越損益金(G + H)	291,339,060
追加信託差損益金	2,114,623
(配当等相当額)	(7,520,230)
(売買損益相当額)	(△ 5,405,607)
分配準備積立金	289,224,437

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は9ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	129,590,905円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	34,648,411
(c) 収益調整金	7,520,230
(d) 分配準備積立金	254,499,183
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	426,258,729
(f) 分配金	129,514,062
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	296,744,667
(h) 受益権総口数	6,816,529,615口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金

190円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、2月19日現在の基準価額（1万口当り10,427円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

為替ヘッジなし

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			公社債 組入比率	債券 組入比率	投資 信託 証券 比率	純資産 総額
		税金 分配	み 金	騰 落 中 率				
1 期末 (2016年2月18日)	円 8,895	円 125	% △ 9.8	% 0.0	% 99.2	百万円 2,930		
2 期末 (2016年8月18日)	8,092	175	△ 7.1	0.0	99.6	2,289		
3 期末 (2017年2月20日)	9,071	220	14.8	0.0	99.0	1,820		
4 期末 (2017年8月18日)	9,616	140	7.6	—	98.8	2,062		
5 期末 (2018年2月19日)	9,704	180	2.8	—	99.2	1,438		

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

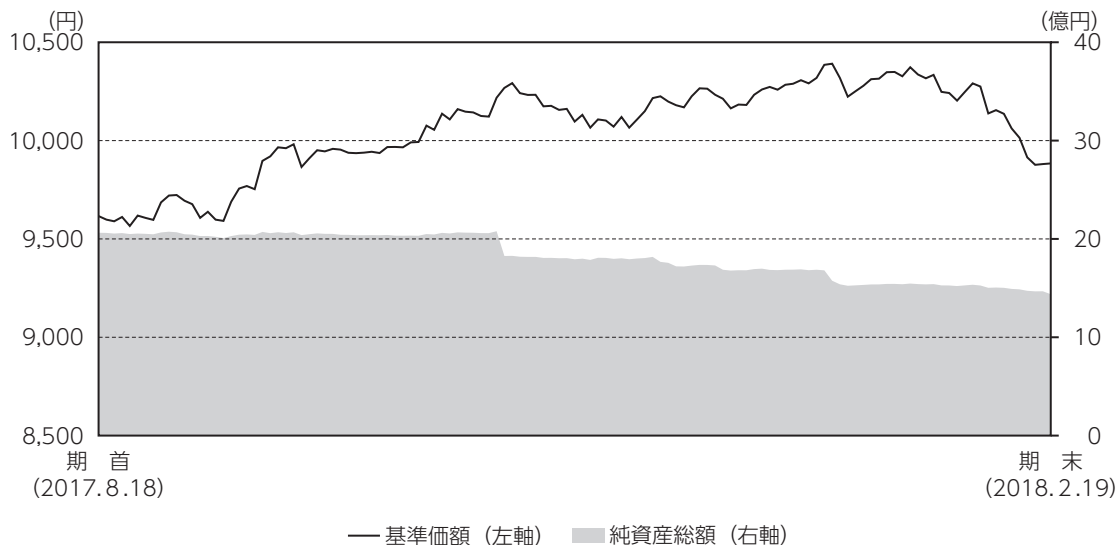
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,616円

期末：9,704円（分配金180円）

騰落率：2.8%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

世界の金融機関（関連会社等を含みます。以下同じ。）が発行するハイブリッド証券に投資した結果、主にC o C o債（※）が堅調な推移となり基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※C o C o債とは、特定の条件下において強制的に投資家が損失を負担する条項（C o C o条項）が付帯されたハイブリッド証券（劣後債、優先証券）をいいます。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	投 資 信 託 証 券 率
	騰 落 率	騰 落 率		
(期首) 2017年 8月18日	円 9,616	% -	% -	% 98.8
8 月末	9,721	1.1	-	99.4
9 月末	9,945	3.4	-	99.2
10月末	10,122	5.3	-	98.8
11月末	10,150	5.6	-	98.8
12月末	10,291	7.0	-	98.6
2018年 1 月末	10,203	6.1	-	96.9
(期末) 2018年 2月19日	9,884	2.8	-	99.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017.8.19～2018.2.19)

■金融ハイブリッド証券市況

金融ハイブリッド証券市況は上昇しました。

金融ハイブリッド証券市況は、期の初めより2018年1月中旬にかけては、米国の税制改革法への期待や欧米金融機関の決算が好調であったことなどから上昇しました。しかし期末にかけては、ECB（欧州中央銀行）による金融緩和の早期縮小が意識されたことや米国の利上げペースの加速の見通しなどから金利が上昇（債券価格の下落）したことにより、金融ハイブリッド証券市況の上昇幅は縮小しました。資産別では資本性の高いC o C o債が堅調でした。

■為替相場

為替相場は円高米ドル安、円安ユーロ高となりました。

米ドル円相場は、期の初めより2017年12月末にかけては、北朝鮮情勢への警戒感が和らいだことや米国の税制改革法が成立したことを背景に円安となりました。しかし期末にかけては、米国のムニューシン財務長官による米ドル安容認発言や米国の財政悪化懸念から米ドルが下落したことに加え、日本の金融正常化観測の高まりが円高の材料となり、円高米ドル安となりました。

ユーロ円相場は、期の初めより2018年1月末にかけて、欧州の堅調な経済指標や金融緩和の早期縮小が意識され円安ユーロ高となりました。しかし期末にかけては、世界的な株安による市場のリスク回避姿勢の強まりや日本の金融正常化観測の高まりが円高の材料となり、円安幅を縮小しました。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）（以下「ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）」といいます。）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

ポートフォリオについて

(2017.8.19~2018.2.19)

■当ファンド

当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通じてハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持しました。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）

G-SIFIs（金融システム上、世界経済に与える影響が極めて大きい重要な金融機関）を中心に、利回り水準や流動性、発行体の信用力などを考慮して銘柄選定を行ないました。資産別では、C o C o 債、劣後債（バーゼルⅢ対応型）、米国優先証券を中心に投資を行ないました。国・地域別では堅調な景気に支えられ、信用力の安定している米国の金融機関の比率を高めとしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローンによる運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は180円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2017年8月19日 ~2018年2月19日	
当期分配金（税込み）	(円)	180
対基準価額比率	(%)	1.82
当期の収益	(円)	180
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	64

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	183.03円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	52.55
(d) 分配準備積立金	9.03
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	244.62
(f) 分配金	180.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	64.62

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2017.8.19~2018.2.19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	65円	0.643%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,063円です。
(投 信 会 社)	(22)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目 論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後 の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	65	0.647	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2017年8月19日から2018年2月19日まで)

国	買付	付		売付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
内	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	千□	千円	千□	千円
		-	-	648,433.57	665,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	千□ 1,465,623.02	千円 1,427,223	% 99.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首 当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千□ 0	千□ 0	千円 0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年2月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,427,223	% 96.4
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	52,821	3.6
投資信託財産総額	1,480,046	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年2月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,480,046,273円
コール・ローン等	52,821,578
投資信託受益証券(評価額)	1,427,223,696
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	999
(B) 負債	41,442,267
未払収益分配金	26,683,628
未払解約金	2,964,300
未払信託報酬	11,719,620
その他未払費用	74,719
(C) 純資産総額(A - B)	1,438,604,006
元本	1,482,423,811
次期繰越損益金	△ 43,819,805
(D) 受益権総口数	1,482,423,811口
1万口当り基準価額(C/D)	9,704円

* 期首における元本額は2,145,374,707円、当期中における追加設定元本額は31,289,269円、同解約元本額は694,240,165円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,704円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は43,819,805円です。

■損益の状況

当期 自2017年8月19日 至2018年2月19日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	35,386,258円
受取配当金	35,394,265
受取利息	1,294
支払利息	△ 9,301
(B) 有価証券売買損益	15,190,388
売買益	50,590,308
売買損	△35,399,920
(C) 信託報酬等	△11,794,339
(D) 当期損益金(A + B + C)	38,782,307
(E) 前期繰越損益金	△45,728,488
(F) 追加信託差損益金	△10,189,996
(配当等相当額)	(7,790,383)
(売買損益相当額)	(△17,980,379)
(G) 合計(D + E + F)	△17,136,177
(H) 収益分配金	△26,683,628
次期繰越損益金(G + H)	△43,819,805
追加信託差損益金	△10,189,996
(配当等相当額)	(7,790,383)
(売買損益相当額)	(△17,980,379)
分配準備積立金	1,790,022
繰越損益金	△35,419,831

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は18ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	27,133,759円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	7,790,383
(d) 分配準備積立金	1,339,891
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	36,264,033
(f) 分配金	26,683,628
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	9,580,405
(h) 受益権総口数	1,482,423,811口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金

180円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、2月19日現在の基準価額（1万口当り9,704円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし））が投資対象としている「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2018年2月19日）現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンドの組入資産の内容等を19ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンドの主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年8月19日から2018年2月19日まで)

買		付		売		付	
銘	柄	金	額	銘	柄	金	額
707 国庫短期証券	2017/12/11		千円 130,001				千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2018年2月19日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第8期 (決算日 2017年12月11日)

(計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第8期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

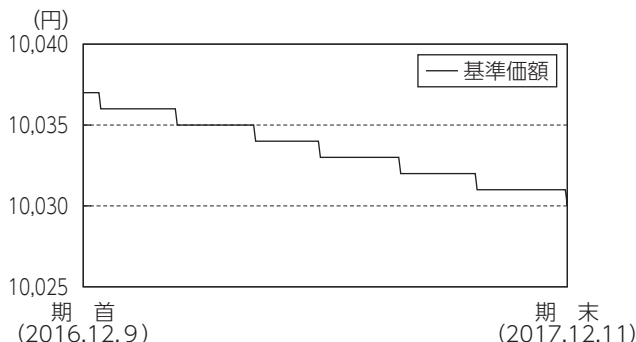
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率	
	円	騰 落 率	組 入 比 率	%
(期首)2016年12月9日	10,037	-	-	29.1
12月末	10,036	△0.0	-	-
2017年1月末	10,036	△0.0	31.1	-
2月末	10,035	△0.0	25.2	-
3月末	10,035	△0.0	-	-
4月末	10,034	△0.0	35.6	-
5月末	10,034	△0.0	6.4	-
6月末	10,033	△0.0	0.6	-
7月末	10,033	△0.0	0.1	-
8月末	10,032	△0.0	-	-
9月末	10,032	△0.0	-	-
10月末	10,031	△0.1	-	-
11月末	10,031	△0.1	-	-
(期末)2017年12月11日	10,030	△0.1	-	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,037円 期末：10,030円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないません。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

国 内	国債証券	買 付 額	売 付 額
		千円	千円
		116,573,085	(128,940,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は四捨五入。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
645	国庫短期証券 2017/2/20		17,010,400
657	国庫短期証券 2017/4/17		10,150,199
652	国庫短期証券 2017/3/27		9,790,078
642	国庫短期証券 2017/2/6		9,700,144
659	国庫短期証券 2017/4/24		9,120,282
651	国庫短期証券 2017/3/21		7,630,194
669	国庫短期証券 2017/6/12		6,970,248
644	国庫短期証券 2017/5/12		6,690,300
638	国庫短期証券 2017/1/16		5,120,041
660	国庫短期証券 2017/5/1		4,590,081

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は四捨五入。

■組入資産明細表

当期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	30,906,278	100.0
投資信託財産総額	30,906,278	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	30,906,278,899円
コール・ローン等	30,906,278,899
(B) 負債	799,000,000
未払解約金	799,000,000
(C) 純資産総額(A - B)	30,107,278,899
元本	30,015,878,475
次期繰越損益金	91,400,424
(D) 受益権総口数	30,015,878,475口
1万口当り基準価額(C / D)	10,030円

* 期首における元本額は42,294,564,193円、当期中における追加設定元本額は17,178,092,718円、同解約元本額は29,456,778,436円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド (為替ヘッジあり) 3,021,993円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド (為替ヘッジなし) 1,018,149円、ダイワ米国バンクローン・ファンド (為替ヘッジあり) 2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド (為替ヘッジあり) 2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド (為替ヘッジあり) 2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレニアセット・インド株式ファンド-インドの匠-29,910,270円、新興国ソブリン・豪ドルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、US 短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、US 短期高利回り社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,994円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス3,969,366,810円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインパース・インデックス5,902,244,309円、ダイワ上場投信-TOP I Xレバレッジ (2倍) 指数1,105,650,011円、ダイワ上場投信-TOP I Xダブルインパース (-2倍) 指数821,890,786円、ダイワ上場投信-日経平均インパース・インデックス6,073,206,032円、ダイワ上場投信-TOP I Xインパース (-1倍) 指数5,071,127,230円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス383,378,807円、ダイワ上場投信-J P X日経400インパース・インデックス5,200,107,448円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインパース・インデックス205,174,656円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ・ブルベア・セレクト マネー・ポートフォリオ28,215,782円、ダイワ・ブルベア・セレクト ドル高円安ポートフォリオ104,220,911円、ダイワ・ブルベア・セレクト 円高ドル安ポートフォリオ49,706,154円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネー

ポートフォリオ - S Lトレード-641,089,307円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の福音 (つちおと) -5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ206,680,116円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ126,940,913円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドII 豪ドル・コース (毎月分配型) 4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドII プラジル・リアル・コース (毎月分配型) 12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドII 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 4,981,569円、ダイワUS 短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレニアセット垂直細株株式ファンド 9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり 49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし 49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース4,980,080円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) プラジル・リアル・コース12,948,208円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース3,685,259円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンド (為替ヘッジあり) 2,088,438円、ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンド (為替ヘッジなし) 1,012,911円、ダイワ/ミレニアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- プラジル・リアル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース499,994円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 プラジル・リアル・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース9,976,045円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース2,001,563円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,030円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 21,002,641円
受取利息	△ 3,317,956
支払利息	△ 17,684,685
(B) 有価証券売買損益	△ 4,086
売買損	△ 4,086
(C) その他費用	△ 329,559
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 21,336,286
(E) 前期繰越損益金	155,223,882
(F) 解約差損益金	△ 99,854,368
(G) 追加信託差損益金	57,367,196
(H) 合計(D + E + F + G)	91,400,424
次期繰越損益金(H)	91,400,424

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。



ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)
ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

追加型投信／内外／その他資産 (ハイブリッド証券)
 第5期 (決算日2018年1月18日)

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

	為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
商品分類	追加型投信／内外／その他資産 (ハイブリッド証券)	
信託期間	無期限	
運用方針	① ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドの受益証券への投資を通じて、世界の金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行するハイブリッド証券 (劣後債、優先証券) * に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を旨として運用を行います。 * C o C o 条項が付帯されているものを含みます。 ② マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高度に維持します。 ③ マザーファンドにおけるハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIsに指定された金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行する銘柄を中心に投資を行います。 ④ ポートフォリオの構築にあたっては、原則として、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定します。	
	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をめざします。	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主運用対象	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (適格機関投資家専用)	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	世界の金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行するハイブリッド証券 (劣後債、優先証券) * を主要投資対象とします。 * C o C o 条項が付帯されているものを含みます。
組入制限	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (適格機関投資家専用)	① 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ② 株式への実質投資割合には、制限を設けません。
	ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	① 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ② 株式への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。 ② 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ③ 留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「投資態度」に基づいて運用を行います。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)」 「ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)」は、このたび第5期の決算を行いました。

ここに、当期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0005

東京都千代田区丸の内一丁目8番3号 丸の内トラストタワー本館
 お問い合わせ先 お客様窓口

電話番号 03-3240-8608

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 配 分			期 騰 落 中 率		ハイブリッド証券 優 先 株 債 券 組 入 比 率		債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	分	騰 落	中 率	優 先 株 債 券 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率		
(設定日) 2015年8月20日	円 10,000		円 -		% -		% -	% -	% -	百万円 8,000
1期 (2016年1月18日)	9,843		193		0.4		-	89.3	-	11,224
2期 (2016年7月19日)	9,748		261		1.7		-	95.2	-	11,259
3期 (2017年1月18日)	9,741		277		2.8		-	95.4	-	9,189
4期 (2017年7月18日)	10,325		244		8.5		1.3	94.2	-	7,891
5期 (2018年1月18日)	10,625		252		5.3		-	97.1	-	7,146

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を表示しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	ハイブリッド証券		債 先 物 比 率	券 率
			優 先 株 債 券 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率		
(期 首) 2017年7月18日	円 10,325	% -	% 1.3	% 94.2	% -	% -
7 月 末	10,426	1.0	1.1	94.8	-	-
8 月 末	10,433	1.0	0.4	96.6	-	-
9 月 末	10,474	1.4	-	99.5	-	-
10 月 末	10,679	3.4	0.7	96.3	-	-
11 月 末	10,738	4.0	-	97.2	-	-
12 月 末	10,766	4.3	-	98.0	-	-
(期 末) 2018年1月18日	10,877	5.3	-	97.1	-	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※ベンチマークについて
当ファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）（以下「当ファンド」といいます。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

（2017年7月19日～2018年1月18日）



期首：10,325円
 期末：10,625円（既払分配金（税込み）：252円）
 騰落率：5.3%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2017年7月18日）の値が基準価額と同一になるよう指数化しております。

（注）上記期末基準価額は、分配落ち後の価額を表示いたします。

○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は、前期末比5.3%の上昇*となりました。

*基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

<値上がり要因>

- ・保有するハイブリッド証券のクーポン収入
- ・保有するハイブリッド証券の価格上昇

<値下がり要因>

- ・為替のヘッジ・コスト

投資環境

（2017年7月19日～2018年1月18日）

当期のハイブリッド証券市場は、期首（前期末）に比べて上昇しました。

期初は、北朝鮮をめぐる地政学リスクの高まりや、米国のトランプ政権を巡る政治的な混迷などから一時的に下落したものの、2017年8月下旬以降は、欧州金融機関の決算がおおむね良好な結果になったことなどが好感され上昇しました。11月に入ると、米欧の株式市場が下落するなどリスク回避的な心理が高まったことでCoCo債などを中心に一時的に下落しましたが、その後は、米国の税制改革法案への期待などから再び上昇基調となりました。期末にかけても、世界的に株式市場が底堅く推移し、引き続きリスク資産が選好されたことから堅調に推移しました。

証券種別では資本性の高いCoCo債が堅調でした。

当ファンドのポートフォリオ

（2017年7月19日～2018年1月18日）

当ファンドはA Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下、「マザーファンド」ということがあります。）受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ります。

マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

当ファンドは期を通してほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。なお、当ファンドの外貨建資産については、高い為替ヘッジ比率を維持しました。

<マザーファンド>

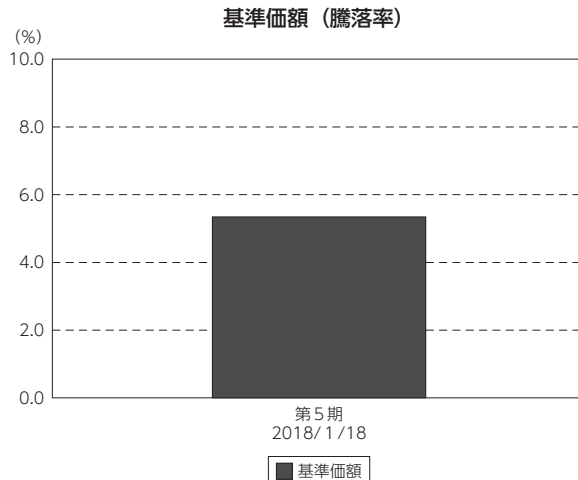
世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs（Global Systemically Important Financial Institutions）に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。

その結果、資本性の高いCoCo債や魅力的なバリュエーションを有する劣後債（従来型）の組入比率を引き上げました。一方で、米国優先証券については、組入比率は大きく下がりました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2017年7月19日～2018年1月18日）

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

（2017年7月19日～2018年1月18日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、252円（1万口当たり、税込み）といたしました。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第5期
	2017年7月19日～ 2018年1月18日
当期分配金	252
（対基準価額比率）	2.317%
当期の収益	252
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	658

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

<マザーファンド>

世界経済は、米国を中心に緊縮財政緩和の追い風で先進国の成長率が高まり、緩やかに減速する中国を除く新興国の経済が復調する中で、2017年の世界経済の成長率は3%前後まで高まったとみており、2018年も同程度の成長率が続くと予想しています。米国については2%以上の安定成長が続いており、更に労働市場の回復にも陰りはみられません。トランプ政権の政策の実現度合いによりますが、2018年は金融政策の正常化が続く一方で少なくとも2%台半ばの成長率を予想しています。

ハイブリッド証券市場については、当局による金融機関への資本規制の具体的な内容について最終合意に至り、各金融機関には資本水準の引上げやリスク削減の取組が引き続き求められ、さらなる信用力向上が期待できることから、引き続き魅力的な市場であると考えています。特にバーゼルⅢ対応型ハイブリッド証券は、市場参加者の拡大が見込まれる上、割安度の観点でも投資妙味が大きいとみています。銘柄選定にあたっては、ファンダメンタル対比で割安感の高まったとみられる銘柄を慎重に選択していく方針です。また、引き続き個別証券の仕組みや価格動向、発行体の分析を行うことでコール見通しの評価を行っていく方針です。

今後も引き続き、投資魅力度の高いハイブリッド証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行う方針です。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

（2017年7月19日～2018年1月18日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 31 (29) (0) (1)	% 0.289 (0.272) (0.003) (0.014)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価 購入後の情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (優 先 株)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (0) (1) (0)	0.009 (0.004) (0.005) (0.000)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	32	0.298	
期中の平均基準価額は、10,586円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年7月19日～2018年1月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設		解	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千□	千円	千□	千円
A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド		169,747	183,862	1,256,849	1,412,920

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2017年7月19日～2018年1月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年1月18日現在)

親投資信託残高

銘	柄	期 首 (前期末)	当 期		末
		□ 数	□ 数	評 価	額
		千□	千□		千円
A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド		7,170,196	6,083,095		7,091,064

(注) 単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2018年1月18日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価	額	比	率
A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド		千円		%
		7,091,064		96.5
コール・ローン等、その他		256,706		3.5
投資信託財産総額		7,347,770		100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（8,551,603千円）の投資信託財産総額（8,819,452千円）に対する比率は97.0%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レート（各1通貨単位当たり）は、1米ドル=111.33円、1ユーロ=135.72円、1英ポンド=153.88円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2018年1月18日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	15,201,065,689	
コール・ローン等	11,858	
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	7,091,064,329	
未収入金	8,109,989,502	
(B) 負債	8,054,696,436	
未払金	7,862,939,710	
未払収益分配金	169,496,720	
未払信託報酬	21,882,006	
その他未払費用	378,000	
(C) 純資産総額(A - B)	7,146,369,253	
元本	6,726,060,318	
次期繰越損益金	420,308,935	
(D) 受益権総口数	6,726,060,318	口
1万口当たり基準価額(C / D)	10,625	円

(注) 期首元本額7,642,549,278円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額916,488,960円。当期末現在における1口当たり純資産額1.0625円。

○損益の状況（2017年7月19日～2018年1月18日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	△ 8,787	
支払利息	△ 8,787	
(B) 有価証券売買損益	393,277,572	
売買益	911,158,401	
売買損	△517,880,829	
(C) 信託報酬等	△ 22,271,808	
(D) 当期損益金(A + B + C)	370,996,977	
(E) 前期繰越損益金	231,493,564	
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 12,684,886 (10,046,208)	
(売買損益相当額)	(△ 22,731,094)	
(G) 計(D + E + F)	589,805,655	
(H) 収益分配金	△169,496,720	
次期繰越損益金(G + H)	420,308,935	
追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 12,684,886 (10,046,208)	
(売買損益相当額)	(△ 22,731,094)	
分配準備積立金	432,993,821	

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (C)信託報酬等には信託報酬、監査報酬などの諸費用とそれらに対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 第5期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(181,695,047円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(189,301,930円)、収益調整金額(10,046,208円)および分配準備積立金額(231,493,564円)より分配対象収益額は612,536,749円(10,000口当たり910円)であり、うち169,496,720円(10,000口当たり252円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	252円
----------------	------

○お知らせ

該当事項はありません。

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			ハイブリッド証券		債券先物比率	純資産額
		税金	み騰	期中	優先株組入比率	債券組入比率		
(設定日) 2015年8月20日	円 10,000	円 -	% -	% -	% -	% -	百万円 2,580	
1期 (2016年1月18日)	9,397	188	△ 4.2	-	90.3	-	3,086	
2期 (2016年7月19日)	8,415	234	△ 8.0	-	94.8	-	2,384	
3期 (2017年1月18日)	9,010	238	9.9	-	97.9	-	1,839	
4期 (2017年7月18日)	9,728	226	10.5	1.3	95.8	-	1,519	
5期 (2018年1月18日)	10,196	243	7.3	-	97.8	-	1,494	

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を表示しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	ハイブリッド証券		債券先物比率
			優先株組入比率	債券組入比率	
(期首) 2017年7月18日	円 9,728	% -	% 1.3	% 95.8	% -
7月末	9,711	△0.2	1.1	96.3	-
8月末	9,752	0.2	0.4	96.7	-
9月末	9,989	2.7	-	97.6	-
10月末	10,180	4.6	0.7	96.2	-
11月末	10,220	5.1	-	97.9	-
12月末	10,374	6.6	-	98.1	-
(期末) 2018年1月18日	10,439	7.3	-	97.8	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※ベンチマークについて

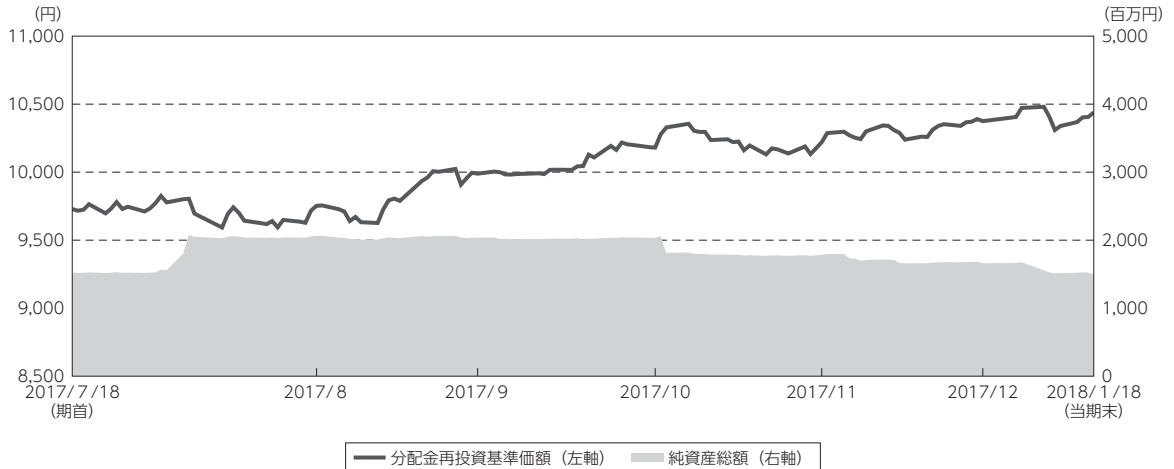
当ファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）（以下「当ファンド」といいます。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

（2017年7月19日～2018年1月18日）



期首：9,728円
 期末：10,196円（既払分配金（税込み）：243円）
 騰落率：7.3%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2017年7月18日）の値が基準価額と同一になるよう指数化しております。

（注）上記期末基準価額は、分配落ち後の価額を表示いたします。

○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は、前期末比7.3%の上昇*となりました。

*基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

<値上がり要因>

- ・円安／ユーロ高が進行したこと
- ・保有するハイブリッド証券のクーポン収入
- ・保有するハイブリッド証券の価格上昇

<値下がり要因>

- ・円高／ドル安となったこと

投資環境

（2017年7月19日～2018年1月18日）

当期のハイブリッド証券市場は、期首（前期末）に比べて上昇しました。

期初は、北朝鮮をめぐる地政学リスクの高まりや、米国のトランプ政権を巡る政治的な混迷などから一時的に下落したものの、2017年8月下旬以降は、欧州金融機関の決算がおおむね良好な結果になったことなどが好感され上昇しました。11月に入ると、米欧の株式市場が下落するなどリスク回避的な心理が高まったことでCoCo債などを中心に一時的に下落しましたが、その後は、米国の税制改革法案への期待などから再び上昇基調となりました。期末にかけても、世界的に株式市場が底堅く推移し、引き続きリスク資産が選好されたことから堅調に推移しました。

証券種別では資本性の高いCoCo債が最も堅調でした。

為替市場において、円ドル・レートは、円高ドル安となりました。2017年9月初旬にかけては円高ドル安となったものの、その後は米国金利の上昇に伴い円安ドル高が進みました。11月以降は米国の税制改革法案に対する不透明感などから円高ドル安基調に転じました。2018年以降も、中国の米国国債購入停止の報道や、米財務長官によるドル安容認発言などを背景に円高・ドル安がさらに進みました。円ユーロ・レートおよび円ポンド・レートは欧州経済への回復期待や金融緩和縮小方針、イギリスの利上げなどを背景にそれぞれ円安ユーロ高、円安ポンド高が進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2017年7月19日～2018年1月18日）

当ファンドはA Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下、「マザーファンド」ということがあります。）受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ります。

マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

当ファンドは期を通してほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。当ファンドの実質外貨建資産については為替ヘッジを行いませんでした。

<マザーファンド>

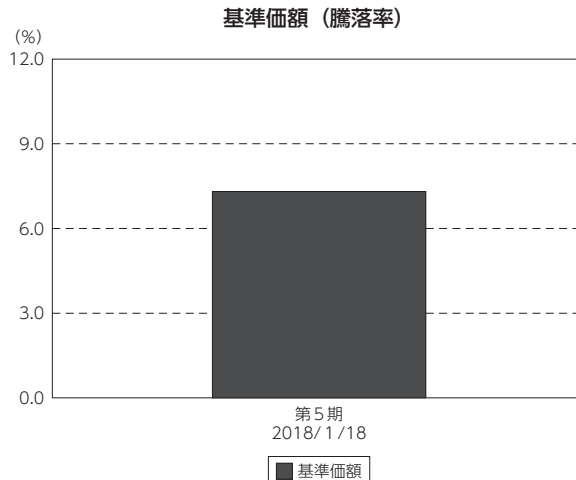
世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs（Global Systemically Important Financial Institutions）に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。

その結果、資本性の高いCoCo債や魅力的なバリュエーションを有する劣後債（従来型）の組入比率を引き上げました。一方で、米国優先証券については、組入比率は大きく下がりました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2017年7月19日～2018年1月18日）

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

（2017年7月19日～2018年1月18日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、243円（1万口あたり、税込み）といたしました。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第5期
	2017年7月19日～ 2018年1月18日
当期分配金	243
（対基準価額比率）	2.328%
当期の収益	243
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	365

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

<マザーファンド>

世界経済は、米国を中心に緊縮財政緩和の追い風で先進国の成長率が高まり、緩やかに減速する中国を除く新興国の経済が復調する中で、2017年の世界経済の成長率は3%前後まで高まったとみており、2018年も同程度の成長率が続く予想しています。米国については2%以上の安定成長が続いており、更に労働市場の回復にも陰りはみられません。トランプ政権の政策の実現度合いによりますが、2018年は金融政策の正常化が続く一方で少なくとも2%台半ばの成長率を予想しています。

ハイブリッド証券市場については、当局による金融機関への資本規制の具体的な内容について最終合意に至り、各金融機関には資本水準の引上げやリスク削減の取組が引き続き求められ、さらなる信用力向上が期待できることから、引き続き魅力的な市場であると考えています。特にバーゼルⅢ対応型ハイブリッド証券は、市場参加者の拡大が見込まれる上、割安度の観点でも投資妙味が大きいとみています。銘柄選定にあたっては、ファンダメンタル対比で割安感の高まったとみられる銘柄を慎重に選択していく方針です。また、引き続き個別証券の仕組みや価格動向、発行体の分析を行うことでコール見通しの評価を行っていく方針です。

今後も引き続き、投資魅力度の高いハイブリッド証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行う方針です。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

（2017年7月19日～2018年1月18日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	29 (27) (0) (1)	0.289 (0.272) (0.003) (0.014)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価 購入後の情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手 続き等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (優 先 株)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (0) (1) (0)	0.010 (0.004) (0.006) (0.000)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	30	0.299	
期中の平均基準価額は、10,037円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2017年7月19日～2018年1月18日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設		解		約			
		□	数	金	額	□	数	金	額
			千□		千円		千□		千円
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド			495,329		540,778		617,476		707,000

（注）単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2017年7月19日～2018年1月18日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2018年1月18日現在）

親投資信託残高

銘	柄	期 首（前期末）		当 期		末	
		□	数	□	数	評	価
			千□		千□		千円
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド			1,403,271		1,281,124		1,493,407

（注）単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

（2018年1月18日現在）

項	目	当 期		末	
		評	価	額	比
			千円		%
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド			1,493,407		97.3
コール・ローン等、その他			42,010		2.7
投資信託財産総額			1,535,417		100.0

（注）評価額の単位未満は切り捨て。

（注）ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（8,551,603千円）の投資信託財産総額（8,819,452千円）に対する比率は97.0%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レート（各1通貨単位当たり）は、1米ドル=111.33円、1ユーロ=135.72円、1英ポンド=153.88円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2018年1月18日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,535,417,138
コール・ローン等	10,010
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	1,493,407,128
未収入金	42,000,000
(B) 負債	41,035,651
未払収益分配金	35,614,639
未払信託報酬	5,313,012
その他未払費用	108,000
(C) 純資産総額(A - B)	1,494,381,487
元本	1,465,623,020
次期繰越損益金	28,758,467
(D) 受益権総口数	1,465,623,020口
1万口当たり基準価額(C / D)	10,196円

(注) 期首元本額 1,562,400,464円、期中追加設定元本額 551,656,126円、期中一部解約元本額648,433,570円。当期末現在における1口当たり純資産額1.0196円。

○損益の状況（2017年7月19日～2018年1月18日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	107,290,529
売買益	137,889,862
売買損	△ 30,599,333
(B) 信託報酬等	△ 5,421,012
(C) 当期損益金(A + B)	101,869,517
(D) 前期繰越損益金	△ 18,556,920
(E) 追加信託差損益金	△ 18,939,491
(配当等相当額)	(3,359,117)
(売買損益相当額)	(△ 22,298,608)
(F) 計(C + D + E)	64,373,106
(G) 収益分配金	△ 35,614,639
次期繰越損益金(F + G)	28,758,467
追加信託差損益金	△ 18,939,491
(配当等相当額)	(5,826,718)
(売買損益相当額)	(△ 24,766,209)
分配準備積立金	47,697,958

(注) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (B)信託報酬等には信託報酬、監査報酬などの諸費用とそれらに対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 第5期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(38,894,136円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(38,899,510円)、収益調整金額(5,826,718円)および分配準備積立金額(5,518,951円)より分配対象収益額は89,139,315円(10,000口当たり608円)であり、うち35,614,639円(10,000口当たり243円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	243円
----------------	------

○お知らせ

該当事項はありません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2018年1月18日現在）

<ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド>

下記は、ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド全体（7,364,220千口）の内容です。

ハイブリッド証券

優先株

銘柄	株数	期首(前期末)	当期		業種等
		株数	株数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) MORGAN STANLEY Pfd	百株 393	百株 -	千米ドル -	千円 -	各種金融
合計	株数・金額 銘柄数 < 比率 >	393 1	- -	- -<-%>	

(注) 株数の単位未満は切り捨て。

(注) -印は該当なし。

外国公社債

(A) 外国（外貨建）公社債 債券種類別開示

区分	額面金額	当期		組入比率	うちBB格 以下組入比率	期末		
		評価額	評価額			残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 36,320	千米ドル 39,387	千円 4,385,037	% 51.1	% 25.2	% 51.1	% -	% -
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	2,300	2,551	346,356	4.0	-	4.0	-	-
イタリア	4,861	5,988	812,799	9.5	3.7	4.8	4.6	-
オランダ	821	884	119,996	1.4	1.3	1.4	-	-
スペイン	6,400	7,491	1,016,691	11.8	10.9	11.8	-	-
その他	8,533	9,487	1,287,631	15.0	2.3	15.0	-	-
イギリス	千英ポンド 2,764	千英ポンド 2,809	432,334	5.0	2.6	5.0	-	-
合計	-	-	8,400,847	97.9	46.0	93.2	4.6	-

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) -印は該当なし。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国 (外貨建) 公社債 個別銘柄開示

銘柄			当期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
			%	千米ドル	外貨建金額 千米ドル	邦貨換算金額 千円	
アメリカ	ハイブリッド証券等	BANK OF AMERICA CORP	6.3	1,500	1,689	188,078	2099/9/10
		BARCLAYS BANK PLC	7.7	1,000	1,006	112,091	2099/10/25
		CHARLES SCHWAB CORP	5.0	1,500	1,494	166,368	2099/12/1
		CITIGROUP INC	6.25	1,500	1,646	183,277	2099/8/15
		COUNTRYWIDE CAPITAL III	8.05	2,775	3,508	390,649	2027/6/15
		CREDIT AGRICOLE SA	8.125	1,385	1,674	186,379	2099/12/23
		CREDIT SUISSE GROUP	7.5	1,903	2,181	242,845	2099/12/11
		CREDIT SUISSE GROUP	6.25	2,100	2,283	254,200	2099/12/18
		GOLDMAN SACHS GROUP INC	5.0	1,118	1,102	122,710	2099/11/10
		INTESA SANPAOLO SPA	5.017	2,400	2,465	274,526	2024/6/26
		INTESA SANPAOLO SPA	5.71	363	386	43,011	2026/1/15
		ITAU UNIBANCO HLDG SA/KY	6.125	629	638	71,055	2099/12/12
		JPMORGAN CHASE & CO	6.75	1,000	1,127	125,524	2099/8/1
		JPMORGAN CHASE & CO	4.625	1,250	1,217	135,509	2099/11/1
		LIBERTY MUTUAL GROUP	7.8	1,500	1,905	212,083	2037/3/15
		PRUDENTIAL FINANCIAL INC	5.625	1,600	1,740	193,803	2043/6/15
		ROYAL BK SCOTLND GRP PLC	4.01465	3,100	3,120	347,366	2099/9/30
		ROYAL BK SCOTLND GRP PLC	8.625	1,547	1,735	193,218	2099/12/31
		SOCIETE GENERALE	7.375	300	325	36,237	2099/9/13
		SOCIETE GENERALE	8.0	1,000	1,175	130,812	2099/9/29
		STANDARD CHARTERED PLC	2.88796	3,100	2,960	329,592	2099/7/30
		STANDARD CHARTERED PLC	7.5	675	734	81,817	2099/10/2
		SUNTRUST BANKS INC	5.125	800	777	86,503	2099/12/15
UBS GROUP AG	7.125	600	656	73,061	2099/8/10		
WELLS FARGO & CO	5.875	1,675	1,835	204,310	2099/12/15		
小計						4,385,037	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	ハイブリッド証券等	ALLIANZ SE	3.099	2,300	2,551	346,356	2047/7/6
イタリア	ハイブリッド証券等	INTESA SANPAOLO SPA	3.928	513	574	77,949	2026/9/15
		INTESA SANPAOLO SPA	7.75	1,200	1,499	203,571	2099/7/11
		UNICREDITO ITALIANO SPA	6.95	2,348	2,925	397,050	2022/10/31
		UNICREDITO ITALIANO SPA	9.25	800	989	134,227	2099/12/3
オランダ	ハイブリッド証券等	ASR NEDERLAND NV	4.625	821	884	119,996	2099/10/19
スペイン	ハイブリッド証券等	BANCO BILBAO VIZCAYA ARG	8.875	1,800	2,185	296,551	2099/10/14
		BANCO DE SABADELL SA	6.5	800	874	118,743	2099/11/18
		BANCO SANTANDER SA	6.75	2,000	2,330	316,290	2099/10/25
		CAIXABANK	6.75	1,800	2,100	285,106	2099/12/13
その他	ハイブリッド証券等	AVIVA PLC	6.125	1,100	1,371	186,082	2043/7/5
		BARCLAYS PLC	8.0	650	751	102,059	2099/12/15
		DANSKE BANK AS	5.875	742	854	115,935	2099/10/6
		HSBC HOLDINGS PLC	6.0	1,150	1,367	185,541	2099/9/29
		LLOYDS BANKING GROUP PLC	6.375	576	637	86,474	2099/12/27

A Bグローバル・ハイブリッド証券ファンド（適格機関投資家専用）

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額 面 金 額	評 価 額		
		外 貨 建 金 額			邦 貨 換 算 金 額		
			千ユーロ	千ユーロ	千円		
その他	ハイブリッド証券等	NORDEA BANK AB	3.5	1,440	1,461	198,414	2099/3/12
		ROYAL BK SCOTLND GRP PLC	2.001	150	149	20,300	2099/9/30
		UBS GROUP AG	5.75	1,000	1,149	156,072	2099/2/19
		XLIT LTD	3.25	1,725	1,744	236,750	2047/6/29
小 計						3,583,475	
イギリス				千英ポンド	千英ポンド		
	ハイブリッド証券等	BARCLAYS PLC	7.25	1,023	1,146	176,359	2099/12/15
		CITIGROUP CAPITAL XVIII	1.40875	1,341	1,210	186,219	2067/6/28
		SANTANDER UK GROUP HLDGS	6.75	400	453	69,755	2099/12/24
小 計						432,334	
合 計						8,400,847	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

※償還日が「2099年」の証券は永久債であり、永久債には償還日がないため、仮置きの日付けを入れております。



ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド

第2期（決算日2017年7月18日）

（計算期間：2016年7月20日～2017年7月18日）

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

運用方針	①世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券） [*] に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目差して運用を行います。 [*] C o C o条項が付帯されているものを含みます。 ②ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIsに指定された金融機関（関連会社等を含みます。）が発行する銘柄を中心に投資を行います。 ③ポートフォリオの構築にあたっては、原則として、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定します。
主要運用対象	世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券） [*] を主要投資対象とします。 [*] C o C o条項が付帯されているものを含みます。
組入制限	①外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ②株式への投資割合には、制限を設けません。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0005

東京都千代田区丸の内一丁目8番3号 丸の内トラストタワー本館

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-3240-8608

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		ハイブリッド証券			債 先 物 比 率	純 資 産 額
	騰 落	中 率	優 先 組 入 比 率	株 率	債 組 入 比 率		
(設定日) 2015年8月20日	円 10,000	% -	% -	% -	% -	% -	百万円 10,580
1期(2016年7月19日)	8,874	△11.3	-	-	94.8	-	13,691
2期(2017年7月18日)	10,826	22.0	1.3	1.3	95.8	-	9,281

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を表示しております。

(注) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ハイブリッド証券			債 先 物 比 率
	騰 落	率	優 先 組 入 比 率	株 率	債 組 入 比 率	
(期 首) 2016年7月19日	円 8,874	% -	% -	% -	% 94.8	% -
7月末	8,827	△ 0.5	-	-	96.8	-
8月末	8,877	0.0	-	-	97.9	-
9月末	8,689	△ 2.1	-	-	96.9	-
10月末	9,039	1.9	-	-	99.9	-
11月末	9,399	5.9	-	-	97.7	-
12月末	9,919	11.8	-	-	97.0	-
2017年1月末	9,920	11.8	1.0	1.0	96.5	-
2月末	9,968	12.3	1.1	1.1	93.6	-
3月末	10,045	13.2	1.9	1.9	94.4	-
4月末	10,193	14.9	2.9	2.9	94.6	-
5月末	10,416	17.4	3.0	3.0	93.3	-
6月末	10,730	20.9	3.0	3.0	94.8	-
(期 末) 2017年7月18日	10,826	22.0	1.3	1.3	95.8	-

(注) 各騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

※参考指数について
当ファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、参考指数を設けておりません。

運用経過

A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下「当マザーファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

(2016年7月20日～2017年7月18日)

○期中の基準価額の推移



○基準価額等の推移

基準価額は、前期末比22.0%の上昇となりました。

○基準価額の主な変動要因

<値上がり要因>

- ・円安／ドル高が進行したこと。
- ・円安／ユーロ高が進行したこと。
- ・保有するハイブリッド証券のクーポン収入
- ・保有するハイブリッド証券の価格上昇

投資環境

(2016年7月20日～2017年7月18日)

当期のハイブリッド証券市場は、上昇しました。

期初は、英中央銀行（BOE）による社債購入プログラムの発表などを受けて堅調に推移しました。2016年11月に入ると、米国大統領選挙におけるトランプ氏の勝利を受け、米国金利が急騰したことや、イギリスおよび欧州の金融機関が相次いで、足元の低金利環境を考慮し発行する永久劣後債の初回コールを行わない方針を示したことから下落しました。しかしその後は米国のトランプ政権が掲げる政策への期待から世界的に投資家のリスク選好の動きが持続し、堅調に推移しました。2017年3月にクレディ・アグリコルのコールスキップが発表されたものの、同時にテングダーオファーも発表されたことからハイブリッド証券市場への影響は軽微なものにとどまりました。その後も、トランプ政権によるロシア疑惑やブラジルのテメル大統領の汚職疑惑などが浮上したものの、世界的に株式市場が底堅く推移したことで引き続きリスク資産が選好され、期末にかけて堅調に推移しました。

証券種別では資本性の高いCoCo債が堅調でした。

為替市場においては、円安ドル高、円安ユーロ高、円安ポンド高となりました。

円ドル・レートは、2016年11月の米国大統領選挙の結果を受けた米国金利の上昇を背景に急激に円安ドル高が進行しましたが、その後は地政学リスクの高まりなどを受けおおむね円高ドル安基調で推移しました。円ユーロ・レートおよび円ポンド・レートも米国大統領選挙後に投資家のリスク選好による円売りの動きが加速し、その後欧州中央銀行（ECB）およびBOEなどの金融当局者による金融引き締めを示唆する発言などからさらに円安ユーロ高、円安ポンド高が進行しました。

運用概況

(2016年7月20日～2017年7月18日)

当マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs (Global Systemically Important Financial Institutions) に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。なお、当マザーファンドの実質外貨建資産については為替ヘッジを行いませんでした。

その結果、資本性の高いCoCo債や魅力的なバリュエーションを有する米国優先証券の組入比率を引き上げました。一方で、従来型の優先証券については、保有証券の償還等もあり組入比率は大きく下がりました。

今後の運用方針

世界経済は、原油安に伴う製造業の調整も一巡し、米国を中心に緊縮財政緩和の追い風により先進国の成長率が高まることで一部を除く新興国経済が持ち直し、成長率は高まるとみています。米国は、トランプ政権の政策実現度合に依存する部分が大きい中、労働市場の回復やインフレ率の動向を踏まえリスクを慎重に判断しながら更なる利上げを継続すると予想しています。ユーロ圏は、ECB内で追加金融緩和が不要との意見が増えてきており、2018年からは国債購入金額を減らすなど慎重に出口戦略の模索に向かうとみています。

ハイブリッド証券市場については、当局による金融機関への資本規制の具体的な内容が次第に明らかになりつつある中で、各金融機関には資本水準の引上げやリスク削減の取組が引き続き求められ、さらなる信用力向上が期待できることから、引き続き魅力的な市場であると考えています。特にパーゼルⅢ対応型ハイブリッド証券は、市場参加者の拡大が見込まれる上、割安度の観点でも投資妙味が大きいとみています。銘柄選定にあたっては、ファンダメンタル対比で割安感の高まったとみられる銘柄を慎重に選択していく方針です。また、引き続き個別証券の仕組みや価格動向、発行体の分析を行うことでコール見通しの評価を行っていく方針です。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2016年7月20日～2017年7月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 有 価 証 券 取 引 税 (優 先 株)	0 (0)	0.000 (0.000)	(a)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	1 (1)	0.012 (0.006)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(1)	(0.006)	その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	1	0.012	
期中の平均基準価額は、9,668円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年7月20日～2017年7月18日)

ハイブリッド証券

優先株

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	アメリカ	百株 1,016	千米ドル 2,567	百株 623	千米ドル 1,641

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 単位未満は切り捨て。

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千米ドル 85,070	千米ドル 134,359
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	社債券	1,857	1,937
	イタリア	社債券	5,474	2,932
	フランス	社債券	373	367
	オランダ	社債券	1,449	4,303
	スペイン	社債券	11,859	9,170
	オーストリア	社債券	1,000	1,001
	アイルランド	社債券	1,856	1,580
	その他	社債券	7,336	4,166
イギリス	社債券	千英ポンド 6,430	千英ポンド 12,064	

(注) 金額は受け渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) 社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) -印は該当なし。

○利害関係人との取引状況等

(2016年7月20日～2017年7月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年7月18日現在)

ハイブリッド証券

優先株

銘柄	株数	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等
			株数	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) MORGAN STANLEY Pfd	百株 -	百株 393	千米ドル 1,068	千円 120,183	各種金融
合 計	株数・金額 -	393	1,068	120,183	
	銘柄数<比率>	-	1	-	<1.3%>

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) -印は該当なし。

外国公社債

(A) 外国(外貨建) 公社債 債券種類別開示

区 分	当 期 初	当 期 末		期 間 別 組 入 比 率		残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額					
アメリカ	千米ドル 51,063	千米ドル 54,831	千円 6,164,752	% 66.4	% 32.6	% 66.4	% -	% -
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	1,800	1,917	247,522	2.7	-	2.7	-	-
イタリア	4,813	5,807	749,642	8.1	-	8.1	-	-
オランダ	200	213	27,549	0.3	0.3	0.3	-	-
スペイン	4,400	4,864	627,952	6.8	6.8	6.8	-	-
アイルランド	300	322	41,631	0.4	-	0.4	-	-
その他	4,091	4,568	589,812	6.4	1.9	6.4	-	-
イギリス	千英ポンド 3,064	千英ポンド 3,023	443,760	4.8	2.9	4.8	-	-
合 計	-	-	8,892,623	95.8	44.4	95.8	-	-

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) -印は該当なし。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国 (外貨建) 公社債 個別銘柄開示

銘柄			当期末				
			利率	額面金額	評価額		償還年月日
			%	千米ドル	千米ドル	千円	
アメリカ	ハイブリッド証券等	BANK OF AMERICA CORP	6.3	2,700	3,013	338,774	2099/9/10
		BARCLAYS BANK PLC	7.7	1,000	1,029	115,718	2099/10/25
		BARCLAYS PLC	5.2	1,125	1,189	133,745	2026/5/12
		BNP PARIBAS	7.625	1,155	1,266	142,355	2099/9/30
		BPCE SA	5.7	2,223	2,473	278,146	2023/10/22
		CIT GROUP INC	5.8	896	932	104,892	2099/12/15
		CITIGROUP INC	6.25	2,275	2,519	283,274	2099/8/15
		CITIGROUP INC	6.125	1,900	2,028	228,036	2099/11/15
		COUNTRYWIDE CAPITAL III	8.05	2,775	3,581	402,724	2027/6/15
		CREDIT AGRICOLE SA	8.375	1,650	1,841	207,074	2099/10/13
		CREDIT AGRICOLE SA	8.125	1,600	1,880	211,368	2099/12/23
		CREDIT SUISSE GROUP	7.5	2,373	2,666	299,812	2099/12/11
		CREDIT SUISSE GROUP	6.25	2,500	2,664	299,598	2099/12/18
		DANSKE BANK AS	6.125	1,225	1,295	145,673	2099/9/28
		DNB BANK ASA	6.5	700	751	84,534	2099/3/26
		GOLDMAN SACHS GROUP INC	5.375	1,000	1,038	116,786	2099/11/10
		INTESA SANPAOLO SPA	5.017	2,400	2,435	273,814	2024/6/26
		INTESA SANPAOLO SPA	5.71	1,513	1,598	179,676	2026/1/15
		JPMORGAN CHASE & CO	6.75	1,000	1,137	127,889	2099/8/1
		LIBERTY MUTUAL GROUP	7.8	1,500	1,867	209,963	2037/3/15
		MORGAN STANLEY	5.45	950	976	109,745	2099/7/15
		NORTHERN TRUST CORP	4.6	800	808	90,843	2099/10/1
		PNC FINANCIAL SERVICES	5.0	750	774	87,062	2099/11/1
		ROYAL BK SCOTLND GRP PLC	7.64	2,700	2,571	289,141	2099/9/30
		ROYAL BK SCOTLND GRP PLC	8.625	1,547	1,686	189,626	2099/12/31
		SANTANDER HOLDINGS USA	4.4	437	442	49,711	2027/7/13
		SOCIETE GENERALE	7.375	500	540	60,712	2099/9/13
		SOCIETE GENERALE	8.0	1,000	1,138	128,029	2099/9/29
		STANDARD CHARTERED PLC	2.67956	4,200	3,588	403,443	2099/7/30
		STANDARD CHARTERED PLC	7.5	675	726	81,676	2099/10/2
		UBS GROUP AG	7.125	600	652	73,397	2099/8/10
		US BANCORP	5.3	1,144	1,221	137,340	2099/10/15
		WELLS FARGO & CO	5.875	2,250	2,491	280,161	2099/12/15
小計						6,164,752	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	ハイブリッド証券等	ALLIANZ SE	3.099	1,800	1,917	247,522	2047/7/6
イタリア	ハイブリッド証券等	ASSICURAZIONI GENERALI	10.125	800	1,089	140,686	2042/7/10
		INTESA SANPAOLO SPA	3.928	513	545	70,399	2026/9/15
		UNICREDITO ITALIANO SPA	6.95	2,700	3,255	420,314	2022/10/31
		UNICREDITO ITALIANO SPA	9.25	800	915	118,241	2099/12/3
オランダ	ハイブリッド証券等	ABN AMRO BANK NV	5.75	200	213	27,549	2099/9/22

ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額 面 金 額	評 価 額		
		外 貨 建 金 額			邦 貨 換 算 金 額		
			千ユーロ	千ユーロ	千円		
スペイン	ハイブリッド証券等	BANCO BILBAO VIZCAYA ARG	8.875	1,600	1,850	238,872	2099/10/14
		BANCO SANTANDER SA	6.75	1,800	1,956	252,519	2099/10/25
		CAIXABANK	6.75	1,000	1,057	136,561	2099/12/13
アイルランド	ハイブリッド証券等	ALLIED IRISH BANKS	7.375	300	322	41,631	2099/12/3
その他	ハイブリッド証券等	AVIVA PLC	6.125	1,100	1,326	171,215	2043/7/5
		BARCLAYS PLC	8.0	650	716	92,488	2099/12/15
		HSBC HOLDINGS PLC	6.0	1,150	1,298	167,674	2099/9/29
		LLOYDS BANKING GROUP PLC	6.375	576	618	79,837	2099/12/27
		XLIT LTD	3.25	615	608	78,596	2047/6/29
小 計						2,284,110	
イギリス	ハイブリッド証券等	BARCLAYS PLC	7.25	723	771	113,253	2099/12/15
		CITIGROUP CAPITAL XVIII	1.18744	1,341	1,204	176,749	2067/6/28
		SANTANDER UK GROUP HLDGS	6.75	1,000	1,047	153,757	2099/12/24
小 計						443,760	
合 計						8,892,623	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

※償還日が「2099年」の証券は永久債であり、永久債には償還日がないため、仮置きの日付けを入れております。

○投資信託財産の構成

(2017年7月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
優先株	千円 120,183	% 1.2
公社債	8,892,623	91.9
コール・ローン等、その他	663,831	6.9
投資信託財産総額	9,676,637	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (9,177,303千円) の投資信託財産総額 (9,676,637千円) に対する比率は94.8%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レート (各1通貨単位当たり) は、1米ドル=112.43円、1ユーロ=129.09円、1英ポンド=146.75円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年7月18日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	9,813,826,688 円
コール・ローン等	253,679,077
優先株 (評価額)	120,183,172
公社債 (評価額)	8,892,623,425
未収入金	435,322,859
未収配当金	1,504,853
未収利息	101,470,603
前払費用	9,042,699
(B) 負債	531,965,660
未払金	258,464,677
未払解約金	273,500,000
未払利息	983
(C) 純資産総額(A - B)	9,281,861,028
元本	8,573,468,430
次期繰越損益金	708,392,598
(D) 受益権総口数	8,573,468,430口
1万口当たり基準価額(C / D)	10,826円

(注) 期首元本額 15,428,832,115円、期中追加設定元本額 1,743,754,545円、期中一部解約元本額8,599,118,230円、当期末現在における1口当たり純資産額1.0826円。

(注) 当期末現在において、当マザーファンド受益証券を組み入れているペーパーファンドの組入元本額の内訳は、下記の通りです。

<組入元本額の内訳>

A Bグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり)	(適格機関投資家専用)	7,170,196,783円
A Bグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし)	(適格機関投資家専用)	1,403,271,647円

○お知らせ

該当事項はありません。

○損益の状況 (2016年7月20日～2017年7月18日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	688,603,794 円
受取配当金	4,303,153
受取利息	684,547,825
支払利息	△ 247,184
(B) 有価証券売買損益	1,531,976,558
売買益	1,786,980,002
売買損	△ 255,003,444
(C) 保管費用等	△ 1,447,135
(D) 当期損益金(A + B + C)	2,219,133,217
(E) 前期繰越損益金	△1,737,725,423
(F) 追加信託差損益金	△ 104,963,426
(G) 解約差損益金	331,948,230
(H) 計(D + E + F + G)	708,392,598
次期繰越損益金(H)	708,392,598

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。